

# 幼児教育の豊かな学びを小学校教育につなげるために

～幼児教育と小学校教育の連携・接続ハンドブック～



令和3年3月

北海道・北海道教育委員会

## はじめに

幼児教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであることから、ゼロ歳から小学校就学前までの全ての子どもを対象として、家庭や地域も含め幼児教育に関わる全ての者が相互に協力し、それぞれの役割を果たしながら教育活動の充実に取り組むことが必要です。

このため、各幼児教育施設、幼児教育団体、市町村等においては、従前から質の高い幼児教育の提供のため、さまざまな工夫と経験を重ねていただいております。道・道教委においても、2018（平成30）年11月に「北海道幼児教育振興基本方針」を策定、翌年6月に幼児教育推進センターを設置するなど、幼児教育の振興に努めているところです。

こうした中、とりわけ幼児教育と小学校教育の連携・接続の充実にに向けた取組は、幼児教育施設、小学校、特別支援学校、市町村首長部局、市町村教育委員会等の各教育主体が子どもを中心に組織的につながり、一人一人の育ちと学びを確実につなぐ体制づくりに直結するなど幼児教育振興の基盤となる施策と考えております。

こうしたことから、本ハンドブックでは、幼児教育施設、小学校等が互いの教育活動や子ども一人一人の成長について理解を深めるためのポイントや市町村の牽引による施設・学校間の交流機会の確保など各地域からよせられた実践事例、さらに、関係者間で取組状況を振り返ることのできるチェックシート等を掲載したところです。

本道の幼児教育振興のために、本ハンドブック並びにチェックシートが活用され、各地域の実情に応じた実効性ある取組が展開されることを期待するとともに、道・道教委においても振興局・教育局と連携しながら各地域の取組を引き続き応援します。

最後になりましたが、作成に当たり、学識経験者、幼児教育関係団体、市町村関係団体等「北海道幼児教育推進協議会」の委員をはじめ各市町村の皆様から、貴重な御意見、御提言をいただきましたことに、心から御礼を申し上げます。

令和3年3月

北海道教育委員会教育長 小玉 俊宏



# も く じ

## 第1章 幼児教育と小学校教育の連携・接続について……………1

- 1 幼児教育とは……………1
  - (1) 幼児教育の基本……………1
  - (2) 幼児教育施設での生活で見られるようになる幼児の姿……………2
- 2 幼児教育と小学校教育……………4
  - (1) 幼児教育と小学校教育の違いとは……………4
  - (2) 育成を目指す資質・能力……………4
  - (3) 幼児期から児童期までの教育イメージ……………4
- 3 幼児教育と小学校教育の連携・接続……………5
  - (1) 連携・接続とは……………5
  - (2) 連携・接続の効果例……………6
  - (3) 道内市町村における幼小接続の状況……………6
  - (4) 学びの芽生えから自覚的な学びへの円滑な移行のために……………7
  - (5) 連携・接続に当たっての留意点……………7

## 第2章 幼児教育と小学校教育の連携・接続のポイント……………8

- 1 授業、行事、研究会等の交流……………9
- 2 効果的な引継ぎ……………12
- 3 スタートカリキュラムの充実……………15

## 第3章 モデル事業成果報告書……………18

- 1 登別市……………20
- 2 富良野市……………25
- 3 枝幸町……………30
- 4 芽室町……………35
- 5 別海町……………40

## 資料編

- (1) 幼小連携・接続のチェックシート（オール北海道でつながろう！！北海道子ども一人一人の育ちと学び）
- (2) 関係法令
- (3) 道内データ
- (4) 用語解説
- (5) 活用できる制度等
- (6) 様式

## 事例集

- (1) 令和2年度事例
- (2) 令和3年度事例（追加）